

## 8-1-1 対外活動委員会

### 1. 対外活動委員会の概要

#### (1) 対外活動委員会の活動目的

建設コンサルタントの現状と課題を踏まえた地方ブロック意見交換会 建設コンサルタントの要望と提案（以下、「要望と提案」）、【説明資料】、【資料集】の作成及び、これに基づく発注者との意見交換を主な活動としている。

#### (2) 委員の構成

「要望と提案」、【説明資料】、【資料集】に各部会・各支部の意見が反映されることを意図し、対外活動委員会の委員は各部会代表委員会及び各支部代表で構成している。また、委員会での議論に基づき、「要望と提案」の原案を対外活動委員会の委員が執筆することとしているため、「要望と提案」の内容に関連する委員会の委員長も委員としている。

### 2. 主な活動の記録

#### (1) 意見交換会の開催と「要望と提案」の作成

令和6年度は対外活動部会において、各地整と地整管内自治体及び沖縄総合事務局、道路会社4社（東・中・西日本高速道路、首都高速）、（独）水資源機構、国総研及び土木研究所、国土交通省本省の4団体と意見交換会を行った。

これらの意見交換会毎に、昨年度の「要望と提案」の内容をベースに、取り巻く環境の変化や最新の実態調査結果を踏まえて、「要望と提案」及び【資料集】などの補足資料を当委員会ならびに各関係委員会が中心となって更新・作成した。

#### (2) 委員会等の開催

4回の対外活動委員会と各対外活動WGを開催した。対外活動委員会はすべて白書委員会との合同開催とし、主に令和6年度の道路会社向けの「要望と提案」とその根拠資料ならびに、令和7年度地方ブロック向け「要望と提案」、【説明資料】、【資料集】の内容を協議した。

#### (3) 令和6年度地方ブロック意見交換会「要望と提案」、【説明資料】及び【資料集】

令和6年度地方ブロック意見交換会「要望と提案」、【説明資料】、【資料集】は、令和5年度から令和6年度前半における対外活動委員会での協議や、常任理事会、対外活動部会、本部・支部意見交換会での意見を踏まえ、以下の通り作成した。

はじめに 魅力ある業界を目指して

- 0.1. 安定的な事業量の確保
- 0.2. 「成長と分配の好循環」の実現
- 0.3. 報酬制度・仕組みの整備

#### 1章. 担い手確保・育成のための環境整備

- 1.1. 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組み推進・強化
- 1.2. 人材の確保・育成
- 1.3. 適切な費用計上

#### 2章. 技術力による選定

- 2.1. (国) プロポーザル方式・総合評価落札方式等の的確な運用・改善
- 2.2. (地方自治体) 発注方式の改善
- 2.3. (国・地方自治体) 地域の担い手づくりのための地域コンサルタントの活用の拡大と育成
- 2.4. 適切な設計変更
- 2.5. 新たな契約制度への対応

#### 3章. 品質の確保・向上

- 3.1. 受発注者それぞれの役割を踏まえたエラー防止への取組み
- 3.2. 詳細設計及び三者会議等における総合的な品質の確保

#### 4章. 災害対応に向けた環境改善

- 4.1. 被災地域に対する迅速かつ適切な災害対応と改正労働基準法遵守との両立
- 4.2. 地方自治体における災害申請作業の合理化・適切化に関する改善と適切な費用計上

#### 5章. DX推進の環境整備

- 5.1. 受発注者協働による働き方改革に資するDX推進：業務効率化の促進
- 5.2. BIM/CIMの利用環境の改善
- 5.3. DXの推進の費用面での環境整備

【説明資料】 A4判 PPT 約80ページで構成

【資料集】 A4判 約190ページで構成

### 3. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。

(対外活動委員会委員長 大本 修)